

Osaka Metro まちさんぽ

肥後橋駅

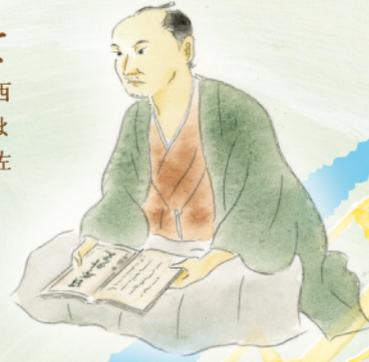
45分
コース

四つ橋線 肥後橋駅

時代の先端を刻んだ西船場

大坂の知の先進地・江戸堀川をたどって

元和3年(1617)に江戸堀川が開削されると諸藩の蔵屋敷が集まり、船場の西側が開けて下船場(西船場)と呼ばれました。新興の経済力を背景にして生まれた柔軟な思考が、このまちから日本中に広がりました。当時の肥後橋は土佐堀川に架かった西横堀川東岸の橋で、北詰に肥後藩の蔵屋敷がありました。



スタート駅

肥後橋駅
四つ橋線

1-A号出口

1

加島屋本家碑
(大同生命大阪本社ビル)

2

江戶堀川跡
金光教玉水教会

3

頼山陽生誕地

4

日本基督教団大阪教会

5

先賢景仰碑

6

此花乃井(花乃井)

7

中天游邸跡

8

大村益次郎寓居跡

9

薩摩藩蔵屋敷跡

10

宮武外骨ゆかりの地

11

薩摩藩中屋敷跡

ゴール駅

阿波座駅
千日前線
中央線

江戸時代、江戸堀には幕末の志士たちが読みふけた『日本外史』を著した頼山陽が生まれ、蘭学者・中天游の私塾・思々齋塾が開かれ、そこに緒方洪庵が学んでいました。洪庵の弟子で日本陸軍の父・大村益次郎が居住し、明治には反骨のジャーナリスト・宮武外骨が『滑稽新聞』を発刊しました。

肥後橋駅
45分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

四つ橋線 肥後橋駅

時代の先端を刻んだ西船場

大坂の知の先進地・江戸堀川をたどって

元和3年(1617)に江戸堀川が開削されると諸藩の蔵屋敷が集まり、船場の西側が開けて下船場(西船場)と呼ばれました。新興の経済力を背景にして生まれた柔軟な思考が、このまちから日本中に広がりました。当時の肥後橋は土佐堀川に架かった西横堀川東岸の橋で、北詰に肥後藩の蔵屋敷がありました。

スタート駅

約 45 分

ゴール駅

四つ橋線肥後橋駅(1-A)号出口

中央線・千日前線阿波座駅

1 加島屋本家碑 (大同生命大阪本社ビル)

江戸時代、船場の西端の地に豪商・加島屋がありました。堂島米会所で大坂の米商をまとめて指導的な役割を果たしました。明治に受け継いだ保険会社の最初の本社ビルはW.M.ヴォーリズが設計したもので、玄関周辺に旧ビルの造形が残されています。



2 江戸堀川跡 金光教玉水教会

江戸堀川は元和3年(1617)に大坂城代・松平忠明によって開削され、西横堀川と木津川が結ばれて流域には自由な気風の商人や文化人が集住しました。金光教玉水教会は明治35年(1902)に布教所が開設されています。江戸堀川は役割を終えて昭和30年(1955)に埋め立てられました。



3 頼山陽生誕地

頼山陽は、安永9年(1780)に広島藩の儒学者・頼春水を父としてこの地に生まれました。江戸に遊学後に脱藩を企て、広島に居宅に幽閉されて、歴史書『日本外史』を執筆しました。同著は、源平時代からの武士の盛衰を描いて、老中・松平定信に献上されました。没後に木活字版が出版されて、幕末の大ベストセラーになり、尊王攘夷運動の思想的支柱になりました。



4 日本基督教団大阪教会

明治7年(1874)に米国人宣教師ゴルドンによって設立され、以来150年を超えた日本最古級のプロテスタント教会です。赤煉瓦の教会堂はW.M.ヴォーリズによる設計で、大正11年(1922)に建設されました。ロマネスク様式のアーチや尖塔、飾り窓など美しいデザインが見られます。



5 先賢景仰碑

下船場に集まった江戸時代以来の先賢を顕彰するために、昭和18年(1943)に東江小学校50周年を記念して建てられました。東江とは東江戸堀のことで、現在は西船場小学校になっています。頼山陽ほか30名を超える名前が刻まれています。



6 此花乃井(花乃井) 花乃井橋跡

花乃井中学校は江戸時代に石見国津和野藩の蔵屋敷があったところで、井戸水は良質と評判の飲料水でした。明治元年(1868)に明治天皇にこの水が献上されたことから「此花乃井」という名が与えられました。花乃井橋は、大正9年(1920)、市電開通時に江戸堀川に架けられた橋で、橋柱が残っています。



7 中天游邸跡

江戸時代の蘭学者・中天游の寓居跡です。中天游は文化14年(1817)に妻のさだとともに医業を開き、蘭学に没頭して橋本宗吉の絲漢堂で学び、自ら思々齋塾を開いて子弟の教育につとめました。緒方洪庵も塾生として学んでいます。



8 大村益次郎寓居跡

長州では奇兵隊を指導し、戊辰戦争では官軍を指揮した大村益次郎は、明治新政府で「日本陸軍の父」と呼ばれました。幕末に緒方洪庵の「適塾」で学んでいたころ、この倉敷屋作衛門宅に下宿していました。明治2年(1869)、徴兵制や藩兵解体に反発した刺客に京都で襲われ、大阪で右足切断の手術を受けましたが、直後に44歳で没しました。



9 薩摩藩蔵屋敷跡 11 薩摩藩中屋敷跡

ここに薩摩堀川が開削されて、琉球や薩摩などの南国の物産を扱う薩摩問屋が集まっており、そこに薩摩藩蔵屋敷(上・中・下)が置かれていました。慶応4年(1868)の鳥羽伏見の戦いで、幕府から蔵屋敷の引き渡しを要求され、拒絶したために会津藩兵が襲うと知って、自火を放って焼失しました。



10 宮武外骨ゆかりの地

宮武外骨は、公権力を批判する反骨のジャーナリストとして明治期の大坂で活躍しました。明治34年(1901)に『滑稽新聞』を発行、明治41年(1908)の廃刊まで鋭い政府批判を続けました。罰金・発禁など29回の処分を受けてもひるまず、その批判精神がいまも高く評価されています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2025年10月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行